

2021年4月21日

世田谷区長 保坂展人 殿

日本共産党世田谷地区委員会

日本共産党世田谷区議団

新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急申し入れ

世田谷区がこの間行ってきた新型コロナウイルス感染症対策、区民や事業者の暮らしを守る支援の取り組みに敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症の第4波が始まり、大阪では医療崩壊の危機的な状態となっています。東京でも感染力のより強い変異株が急増し、深刻な感染拡大が続いています。区民の命と暮らしを守るために、さらなる取り組みを求め緊急に申し入れます。

感染拡大を防ぐためには、PCR検査の抜本的拡大、医療機関の財政支援、事業者への十分な保障という3本柱での対策強化が必要です。

日本共産党の繰り返しの提起や、世田谷区を始めとする地方自治体の積極的取り組みで、ようやく政府は検査拡大の必要性を認めましたが、問題は量、規模とスピードです。世田谷区のこれまでの取り組みをさらに加速させ、世田谷から「コロナ封じ込めのための大規模検査」はこうあるべきだという実例を示すことが求められています。

第3波を大きく上回る感染の波が予想され、医療崩壊の危機も叫ばれています。医療崩壊をなんとかして防ぐために、保健所や医療の体制を急いで整える必要があります。また、感染拡大の中でGWを迎えます。連休中も必要な相談支援の体制、保健所や医療の体制を確保する必要があります。

東京都が3回目の緊急事態宣言を要請すると報道されています。区内事業者、区民生活は大変厳しい状況にあります。自粛と保障はセットです。区として国や都の支援制度を要請すること、事業者の実態を把握し、区としての支援をしっかりと行うことが必要です。

この間の区民アンケートで、学生から「仕事を失い生活費や学費が賄えない」また、民青同盟が行なったフードバンクでは、近隣の大学生から、「1日1食しか食べていない。同じような友人がいる」などの声が寄せられました。区内大学と連携した取り組みを進め、区内高校・大学生への経済的支援や食の支援を求めます。

第4波から区民の命と暮らしを守るために、区の総力をあげることを求め、以下申し入れます。

記

1. PCR検査の拡充を

- ・社会的検査の強化・拡充を進めること。定期検査未受検施設への対策、週に1回の検査をすすめること。早急に高齢者施設などリスクの高い施設での検査を徹底して行うこと。
- ・変異株の調査は、感染拡大があっても確実に全数検査をすること。
- ・感染が広がっている変異株は子どもへの感染力も強いとされている。幼稚園、保育園、小中学校など社会的検査については、児童・生徒も検査対象とすること。また、感染者が出た施設につ